

「偉大な父」に続き花園へ

【大阪府守口市】元プロ野球選手の山田和正監督が、守口市立花園小学校で「偉大な父」に続き、「楽しいで勝つ」をテーマにした講演を行った。山田監督は、守口市立花園小学校で「偉大な父」に続き、「楽しいで勝つ」をテーマにした講演を行った。山田監督は、守口市立花園小学校で「偉大な父」に続き、「楽しいで勝つ」をテーマにした講演を行った。

「楽しいで勝つ」

講演は、山田監督が「楽しいで勝つ」というテーマで、子どもたちに語りかけた。山田監督は、守口市立花園小学校で「偉大な父」に続き、「楽しいで勝つ」をテーマにした講演を行った。

山田監督は、守口市立花園小学校で「偉大な父」に続き、「楽しいで勝つ」をテーマにした講演を行った。山田監督は、守口市立花園小学校で「偉大な父」に続き、「楽しいで勝つ」をテーマにした講演を行った。

講演・指導員 山田和正監督



山田和正監督が、守口市立花園小学校で講演を行った。山田監督は、「楽しいで勝つ」というテーマで、子どもたちに語りかけた。

2006年(平成18年)11月21日(火曜日)

22

西陵ラグビー部 花園出場を報告

本社来訪

12月27日に開幕する第86回全国高校ラグビーフットボール大会(日本ラグビーフットボール協会、毎日新聞社など主催)への出場を決めた西陵の山田和正監督、山森裕之主将(3年)、山本竜也副主将(同)らが20日、名古屋市中村区の毎日新聞中部本社を訪れ、県大会優勝を報告した。

「花園」に臨むのは、2年ぶり35回目。今シーズンからさい配を振る山田監督は「苦しい時期も『3年が引っ張ろう』を合言葉に、3年生自らがきついことにも取り組んできた」と、3年生の責

任感ある姿勢を称賛。「他の県勢の分もがんばらな」といけないということ
を忘れず、花園に臨みたい」と力を込めた。
山森主将は「これまでの練習の成果を花園で出していきたい」と活躍を誓った。
【荒川基従】



本社を表敬訪問し、中山義彰編集制作総務から激励を受ける山森裕之主将(左から3人目)ら西陵高ラグビー部関係者—大竹禎之写す



組み合わせ抽選

第86回全国高校ラグビーフットボール大会(毎日新聞社など主催)の組み合わせ抽選会が2日、大阪市北区の毎日新聞大阪本社で開かれた。2年ぶり35回目出場となる県代表の西陵は、大会2日目の28日に1回戦を熊野(和歌山代表)と対戦することになった。

西陵

初戦は和歌山・熊野

大会2日目 フライフティーン練習に熱

熊野は7年連続10回目の出場の前年の強豪。FWとBKのバランスがよく、県大会決勝では近畿大学付属和歌山に19-15で逆転勝ちした粘り強さがある。FWの巧みなモール攻撃が得意な西陵と好ゲームが予想される。

抽選会には、今春就任した山田和正監督(38)と山森裕之主将(3年)が出席し、山森主将がくじを引いた。山田監督は「熊野は知らないチーム。県代表として恥ずかしくない試合をしたい」と、花開初さい配への意気を見せた。山森主将は「やっ



と花開だという実感がわいてきた。チーム一丸で頑張ると闘志を見せた。

この日、他の選手たちは名古屋市西区の学校タラウンドで練習。午後2

対戦相手が熊野に決まり、練習にも一段と力がかこる西陵の選手たち

時ごろ、コーチから抽選結果が知らされると「オッ」と気合を入れる声が上がった。山本龍也副主将(3年)は「目標が決まりいよいよという感じ。1年の時は何もできなかった。今度はいいプレーをしたい」と意欲満々だった。

大会は全国の51チームが参加し、27日から来年1月7日まで東大阪市の近鉄花園ラグビー場で開かれる。【井上章】

第54回全国高校ラグビーフットボール大会(日本ラグビーフットボール協会、毎日新聞社主催)は26日、東大入部市の近鉄花園ラグビー場で開幕する。2年ぶり5回目の出場を果たした県代表の名古屋市立西陵高校(同市西陵区)は、大会2日目の28日に1回戦で和歌山県代表の県立龍野高校と対戦する。花園初参戦となる山田和正監督(39)と、全国の強豪との対戦に胸を躍らせるラグビー選手に想いを伝えた。(丸岡みず希は西陵選手、氏名・学年の後は、△身長、●体重▽出身中学▽区名のみは名古屋市中野の部活動▽得意なプレー▽愛称▽好きな言葉▽ラグビーの魅力▽夢▽花園への想いや目標)

西陵 (35回目)

山田和正監督 県代表として参戦かしくない試合をしたい。相手チームのことは分からないので、うちの選手と選手の間を繋げる。古い配をする。

①山口太郎選手(3年) △177センチ、80キロ▽名古屋市立西陵区
②楠田洋平選手(3年) △177センチ、85キロ▽中山区



強豪と対戦 胸躍らせ

・高校▽ラグビー▽スタジアムとモジュール▽1年生懸命、一心不乱▽体と体のぶつかり合い▽1口選手の家を建てた▽1口選手も喜び

①佐々木大樹選手(3年) △180センチ、85キロ▽北区・津田町▽ラグビー▽マイ

②山田和正選手(3年) △180センチ、88キロ▽龍野区・南陽町▽ラグビー▽主力▽ひろし▽負けたことがないか

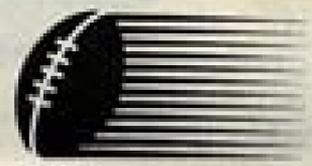
③小塚寛重選手(3年) △180センチ、80キロ▽南区・南陽町▽ラグビー▽主力▽ひろし▽負けたことがないか

④岩根周平選手(3年) △177センチ、70キロ▽中山区・高松町▽ラグビー▽粘り強いディフェンス▽ガンチャン▽練習▽チームプレー▽人の役に立ちたい▽最高のチームで1戦でも多くプレーしたい



岩根周平選手
佐々木大樹選手
山田和正監督
山口太郎選手
山田和正監督
山口太郎選手
山口太郎選手
山口太郎選手
山口太郎選手
山口太郎選手
山口太郎選手
山口太郎選手

⑤山田和正選手(3年) △180センチ、82キロ▽中山区・長良町▽サッカー▽力強い走り▽やまもち▽満足と喜びは止まらない▽チームプレー▽大学でもラグビーで活躍したい▽県代表に恥じない試合



第95回 全国高校ラグビー

主催 毎日新聞社、日本ラグビー協会
共催 全国高等学校体育連盟
大会所 大塚国際体育会館
特別協賛 神戸製鋼グループ、毎日放送

第2日

第2日は1回戦の残り1試合が行われ、東工(山口)は札幌山の手(前北越前)を撃破し、2年連続の初戦突破を果たした。2年ぶり出場の大東(徳島)は、1年ぶりの甲南(鹿児島)に快勝、平工(福岡)は、4年ぶり出場の関西(岡山)を降し、4年ぶりの2回戦進出を決めた。西陵(愛知)は南野(和歌山)を降し、愛知勢初勝利。日本航空二(石川)は若狭東(福井)を降し、花園初勝利を挙げた。今大会唯一初出場の三島(愛媛)は関商工(岐阜)に敗れた。

第2日の36日は、2回戦16試合があり、シード校18校が参加する。

90メートル独走トライ



西陵(和歌山) 選手12枚、西陵のWTB田中が自陣に付近から右腕を伸ばしたボールを受け取り、約50メートル走り下トライ小松選手が押し出す。

西陵 伝統のモール健在

西陵36-12 南野

西陵の伝統はFW8人が固結したモール攻撃。6トライのうち、モールを押し込んで奪ったトライは3本。南野を圧倒し、愛知勢初勝利をもたらし、千メートルで得点したのは前半6分と後半の9分、24分。先制、中押し、だめ押しと要所で得点技を奏した。トライはいずれも主将の〆〆山崎。FW第一列の山口、植田、佐々木の5メートルを中心に圧力をかけ、ゴールラインを崩した。今春から指揮を執る山田和正監督にとっては花園初勝利。山田監督は「もちろんとバックスに勝ってほしかった」と試合運びの課題を口にしながら、西陵が第70回大会で東海地区初の全国制覇を果たして10年、和正監督の父で、当時チームを率いた山田和正(和正)監督が山田和正監督の父と評する。またまたFWが力不足と評価は辛口だ。

バックスへの課題を含めた優勝自在の攻撃を遂げなくては、シード校を倒しての進級を懸念する。山田は断言する。

【西松隆】

◇第2日の結果◇

日本航空二	関商工	東京工	東工	萩工	広島工	西陵	東農大二	平工	高鍋	東海大津	佐賀工
20	27	27	34	27	36	77	25	14	98	67	
5	10	0	0	10	12	0	0	5	0	10	
若狭東	三島	甲南	札幌山の手の手	国学院栃木の	熊野	倉吉	関西	日川	土佐	富山	佐山

「お前たちは最高だ」

【名古屋】西陵高校ラグビー部は、2006年度の全国高校ラグビー大会で、2年連続で優勝した。選手たちは、優勝を機に、母校に感謝の言葉を述べた。優勝を機に、母校に感謝の言葉を述べた。優勝を機に、母校に感謝の言葉を述べた。

【写真】

優勝を機に、母校に感謝の言葉を述べた。優勝を機に、母校に感謝の言葉を述べた。優勝を機に、母校に感謝の言葉を述べた。

優勝を機に、母校に感謝の言葉を述べた。優勝を機に、母校に感謝の言葉を述べた。優勝を機に、母校に感謝の言葉を述べた。



2回戦

西陵、猛攻あと一歩

【名古屋】西陵高校ラグビー部は、2006年度の全国高校ラグビー大会で、2年連続で優勝した。選手たちは、優勝を機に、母校に感謝の言葉を述べた。優勝を機に、母校に感謝の言葉を述べた。優勝を機に、母校に感謝の言葉を述べた。

勝利を喜び、大声を上げる「西陵ラグビーガールズ」



ガールズが大声で「お前たちは最高だ」と叫ぶ。ガールズが大声で「お前たちは最高だ」と叫ぶ。ガールズが大声で「お前たちは最高だ」と叫ぶ。

ガールズが大声で「お前たちは最高だ」と叫ぶ。ガールズが大声で「お前たちは最高だ」と叫ぶ。ガールズが大声で「お前たちは最高だ」と叫ぶ。

優勝を機に、母校に感謝の言葉を述べた。優勝を機に、母校に感謝の言葉を述べた。優勝を機に、母校に感謝の言葉を述べた。



西陵高校ラグビー部は、2006年度の全国高校ラグビー大会で、2年連続で優勝した。

優勝を機に、母校に感謝の言葉を述べた。優勝を機に、母校に感謝の言葉を述べた。優勝を機に、母校に感謝の言葉を述べた。

スポーツ 人間ドラマ

毎日新聞

(東京新聞社)

後半11分 西陵悪夢

一瞬のスキ、逆転許す

西 京大 0-1 西陵
 10000円 100000円
 10000円 200000円
 178814

【西京大】西京大は、後半11分、西陵の悪夢が実現した。西京大の選手が、西陵の選手を倒すという瞬間があった。それが、西京大の逆転の瞬間だった。

後半11分、西京大の選手が、西陵の選手を倒すという瞬間があった。それが、西京大の逆転の瞬間だった。西京大の選手は、西陵の選手を倒すという瞬間があった。それが、西京大の逆転の瞬間だった。

【西京大】西京大は、後半11分、西陵の悪夢が実現した。西京大の選手が、西陵の選手を倒すという瞬間があった。それが、西京大の逆転の瞬間だった。

【西京大】西京大は、後半11分、西陵の悪夢が実現した。西京大の選手が、西陵の選手を倒すという瞬間があった。それが、西京大の逆転の瞬間だった。



【西京大】西京大は、後半11分、西陵の悪夢が実現した。西京大の選手が、西陵の選手を倒すという瞬間があった。それが、西京大の逆転の瞬間だった。

関商工も逆転

関商工も逆転。関商工の選手が、逆転の瞬間があった。それが、関商工の逆転の瞬間だった。

【関商工】関商工は、後半11分、逆転の瞬間があった。関商工の選手が、逆転の瞬間があった。それが、関商工の逆転の瞬間だった。

【関商工】関商工は、後半11分、逆転の瞬間があった。関商工の選手が、逆転の瞬間があった。それが、関商工の逆転の瞬間だった。

【関商工】関商工は、後半11分、逆転の瞬間があった。関商工の選手が、逆転の瞬間があった。それが、関商工の逆転の瞬間だった。

【関商工】関商工は、後半11分、逆転の瞬間があった。関商工の選手が、逆転の瞬間があった。それが、関商工の逆転の瞬間だった。